

徳富蘇峰

徳富蘇峰（とくとみ そほう）は明治から昭和にかけての日本のジャーナリスト、思想家、歴史家、評論家。

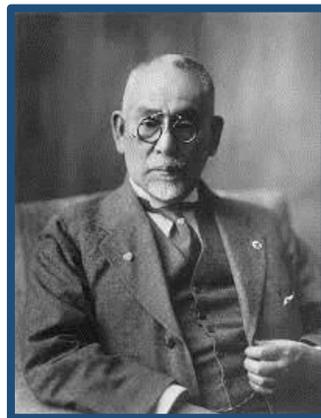
『国民新聞』を主宰し、大著『近世日本国民史』を著したことで知られる。現在の熊本県益城町出身 小説家の徳富蘆花（とくとみ ろか）は弟。



東郷平八郎

東郷平八郎（とうごう へいはちろう）は日本の幕末から明治時代の薩摩藩士、軍人。階級は元帥海軍大将。日露戦争では連

合艦隊司令長官として指揮を執り日本海海戦での完勝により英雄視され、「東洋のネルソン」と呼ばれた。現在の鹿児島県鹿児島市出身。



後藤新平

後藤新平（ごとう しんぺい）は日本の医師・官僚・政治家。台湾総督府民政長官。満鉄初代総裁。逓信大臣、外

務大臣。東京市第7代市長、ボーイスカウト日本連盟初代総長。東京放送局（のちの日本放送協会）初代総裁。拓殖大学第3代学長を歴任した。現在の岩手県奥州市出身



高木兼寛

高木兼寛（たかき かねひろ）は日本の海軍軍人、最終階級は海軍軍医総監（少将相当）。医学博士。男爵。東京慈恵

会医科大学の創設者。脚気の撲滅に尽力し、「ビタミンの父」とも呼ばれる。当時日本の食文化では馴染みの薄かったカレーを脚気の予防として海軍の食事に取り入れた（海軍カレー）。